

平成31年度
事業計画及び収支予算書

公益財団法人兵庫丹波の森協会

目 次

活動方針	1
事業体系	5
事業計画書	9
補助事業等事業一覧表	19
収支予算書	21
収支予算内訳書	23
(参考) 収支予算書 (資金ベース)	25

平成31年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会活動方針

当協会は、丹波地域（篠山市・丹波市）の地域づくりの指針である「丹波の森構想」の推進母体として昭和63年に設立（平成2年に法人化、平成24年に公益財団法人へ移行）され、丹波の森づくりの意識啓発や人材育成、ふるさと教育の推進、地域づくり活動の支援などに取り組んできたところである。

昨年度は、丹波の森宣言から30周年を迎えたことから、兵庫県、篠山市、丹波市や市民、学識者等と連携した実行委員会を立ち上げ、「丹波の森づくり30周年記念事業」を展開し、丹波の森宣言に基づいたこれまでの取組に環境変化の視点を加え、「丹波の森づくりのこれから」として新たな取組の方向性を示すに至った。

今後、この方向性に基づき、社会的に公益性の高い責任ある法人として、「人と自然と文化の調和した丹波の森づくり」を更に進めるための事業を展開することとし、丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム構想推進事業など恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくりや地域情報の発信、環境学習の推進、木育の推進、芸術文化の振興、多彩な分野の学習、交流、地域づくり事業等を支援、推進していく。

平成31年度の新たな取組として、丹波の森研究所では「小規模集落の活性化に向けた地域づくり」及び「生物多様性保全に向けた丹波の森の環境づくり」の現代的課題研究に取り組み、シンクタンクとして市民活動を支援していく。

また、丹波の森づくりの拠点施設である「県立丹波の森公苑」、「県立丹波年輪の里」、「県立ささやまの森公園」及び「県立丹波並木道中央公園」の4つの施設において、更に連携を深めると共に、生物多様性に向けた環境づくり学習を充実していく。

さらに、芸術文化の取り組みにおいては、「丹波の森国際音楽祭25周年記念事業」を展開する。

【公益財団法人兵庫丹波の森協会（公益目的事業）】

1 森林文化（地域づくり）の創造

人と自然が共生する丹波の森づくりを推進するために

- (1) 魅力ある地域づくりの推進
- (2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進
- (3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

2 生活創造活動への支援

多様なライフスタイルの創造を支援するため、地域・団体活動の支援や生涯学習の場の提供、くらしの安全安心の推進、明日を担う丹波っ子の育成など生活創造活動への支援を行う。

3 芸術文化の振興

人と人、人と自然のふれあいの中から生まれた文化を大切にする心を醸成するとともに、舞台芸術鑑賞機会の提供や芸術文化活動の振興、芸術文化団体活動の支援など芸術文化の振興を図る。

【施設ごとの活動方針】

・「県立丹波の森公苑」では、自然と織りなす豊かなライフスタイルを創造するための拠点施設として、丹波らしさを活かした地域づくりを推進する。

- 1 丹波の森公苑の里山を活用し、里山林の整備や自然体験学習の場を提供することにより森づくりに参画する人材の育成を図るとともに、青少年の環境学習を推進し、人と自然が共生する丹波の森づくりを進める。また、”シンボルの森“として里山を楽しめる施設となるよう里山への入口園路等の整備を行う。
- 2 豊かなライフスタイルを創造するための県民の主体的な活動を支援するため、丹波地域の団体・グループ等の活動情報を収集・発信するとともに施設利用団体への活動支援を充実させる。また生涯学習の一環として高齢者に学習と交流の機会を提供し、永年培ってきた知識や経験をより磨き、地域づくりの実践者を養成する。
- 3 音楽・演劇等の優れた芸術に触れる機会と創作活動の発表の場を提供するとともに個性豊かな地域文化を育てる。丹波地域の秋の風物詩となっている丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの25周年を記念し、コンサート等を拡充して実施する。

・「県立丹波年輪の里」では、地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えると共に、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。

特に特別木工教室においては、初心者向けの教室から本格的な木工教室まで幅広い実習課題を工夫すると共に、個人共同利用者には木工キットメニューの見直を行う。また、林産指導事業においては、県農政環境部林務課及び県木材業協同組合連合会と連携し、木育キャラバンの充実を図る。

・「県立ささやまの森公園」では、自然との共生を体験する施設として、里山保全や多彩な自然体験プログラムを展開し、世代や地域を越えた交流を通じて、豊かな丹波の里山づくりを推進する。

さらに、本年よりコカ・コーラ ボトラーズジャパン株式会社明石工場の森づくり活動の取組に協力する。この取組をとおして、広葉樹を中心とした樹林の造成を推し進め、魅力ある里山づくりに努める。

・「県立丹波並木道中央公園」では、「森づくり・森づかい」を基本に、棚田や森の間伐材の利活用など、森とともに生きてきた人々の営みを取り入れた公園づくりを推進するとともに、都市住民との交流を進め、丹波の森の魅力を内外に発信していく。

また、昨年度は、大雨、猛暑、台風襲来（7月～9月）などにより、倒木等の被害や最大のイベントである「なみきみちまつり」の中止、来園者の減少など、公園管理にとって厳しい環境となった。従って、今年度は、これまで以上の異常気象に見舞わ

れることを前提にした公園管理を模索しながら、特に次の取組を推進する。

- 1 公園の樹木、植栽そして建物などの公園施設の管理については、想定を超えるような猛暑・台風・大雨による被害を最小限に食い止めるための対応を早急に検討する。
- 2 利用促進事業については、公園内の建物を利用した次の屋内イベントを実施する。
 - ① 伝統ある丹波木綿の展示会と機織りワークショップの開催丹波木綿保存会による「新しい丹波木綿の展示」と古くから使われてきた「機織り機」による機織り体験ワークショップを来園者対象に実施する。
 - ② 地元の農家から提供いただいた旧来の農機具類や水車などを再度分類の上、その役割や使用法をきちんと表示し、来園者に分かりやすいように展示する。
- 3 丹波地域の生物多様性の調査について9月に「人と自然の博物館」の全面協力を得て「昆虫大捜査線」を開催する。
《内容》：150名以上の子どもたちの参加を募り、公園内の昆虫など生物を採取・観察・分類の上、データ化する。(生物多様性への取り組み)

平成 31 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業体系

人と自然と文化の調和した丹波の森づくりを推進するため、県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立ささやまの森公園及び県立丹波並木道中央公園において、次の事業を実施する。

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

「丹波の森構想」の普及・啓発（深化）のための人材養成、丹波の森づくり推進施策に基づく事業を行うことにより、丹波の森構想の理念である「自然とともに生きる地域社会の実現」をめざす。

(1) 魅力ある地域づくりの推進

ア 丹波の森大学の開設

イ ウィーンの森親善訪問事業

ウ 丹波の森研究所

エ 地域づくり支援事業

- ・ 地域づくり支援事業
- ・ たんば恐竜・哺乳類化石等を活かしたまちづくり事業
- ・ 丹波地域の花と緑の啓発イベント開催事業
- ・ 交流実践スキルアップ事業
- ・ 丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業
- ・ シンボルの森整備事業

オ 花づくり活動支援事業

カ 丹波の森フェスティバルの開催

キ 丹波の森収穫祭（なみきみちまつり）の開催

ク 丹波年輪の里事業

【県立丹波年輪の里】

ケ 丹波並木道中央公園事業

【県立丹波並木道中央公園】

(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進

ア 丹波の森公苑里山事業

イ 丹波地域生物多様性保全学習事業

ウ ささやまの森公園事業

【県立ささやまの森公園】

(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進

ア 丹波の森公苑環境学習推進事業

(4) 公1 共通経費

ア 施設運営・管理

【全施設】

公2 生活創造活動への支援

芸術文化、環境、消費生活、健康、福祉等の様々な分野にわたる生涯学習、地域づくり活動その他の活動であって、豊かな生活を創造するための県民の主体的な活動（以下「生活創造活動」という。）を支援し、生活創造活動に係る情報を提供することにより丹波の森構想の理念である「活力ある開かれた地域社会の実現」をめざす。

(1) 地域・団体活動の支援

- ア 生活創造活動支援事業（消費生活を含む）
- イ 生活創造活動施設貸し館業務
- ウ スポーツ大会・文化教室の開催

【県立丹波年輪の里】

(2) 生涯学習の場の提供

- ア 兵庫県地域高齢者大学4年生大学講座（丹波OB大学）の開設
- イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座（丹波OB大学大学院）の開設
- ウ 講座「丹波学」の開設
- エ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催

(3) 明日を担う丹波っ子の育成

- ア トライやる・ウィーク等受入
- イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催
- ウ 丹波の森公苑長杯ふれあい中学生ソフトテニス大会の開催
- エ 丹波（篠山市・丹波市）のむかしばなし語りベクラブの活動支援

【全施設】

(4) 公2 共通経費

- ア 施設運営・管理

公3 芸術文化の振興

県民に音楽、演劇等の優れた舞台芸術等に触れる機会と創作活動の発表の場を提供することにより、丹波の森構想の理念である「潤いと安らぎのある地域社会の実現」をめざす。

(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供

- ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアードたんばの開催
- イ 丹波の森公苑ホール等自主事業

(2) 芸術文化活動の振興

- ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催 【県立丹波年輪の里】
- イ 丹波の森ウッドクラフト展（木のおもちゃ展）の開催 【県立丹波年輪の里】
- ウ 丹波の森アート作品展の開催
- エ 展示ギャラリーの開設
- オ 伝統文化活性化支援事業
- カ 座っ展 2019-丹波でうまれた木の椅子- 【県立丹波年輪の里】

(3) 公3 共通経費

- ア 施設運営・管理

公共 丹波地域情報の発信等

(1) 丹波地域情報の発信等

- ア 情報発信等
- イ 運営委員会の開催 【全施設】
- ウ 丹波の森づくり事業これからの展開

Ⅱ 収益事業会計等

1 収益事業会計

(1) 施設利用者への利便提供等事業の実施

【県立丹波の森公苑、県立丹波年輪の里、県立丹波並木道中央公園】

2 その他事業会計

(1) 芸術文化団体等活動支援事業

ア 芸術文化団体等への活動支援

Ⅲ 法人会計

【全施設】

1 法人会計

(1) 協会維持運営

(注) 各事業の右に実施している施設名を記載している。記載がない場合は、県立丹波の森公苑で実施している。

平成 31 年度 公益財団法人兵庫丹波の森協会事業計画書

I 公益目的事業会計

公1 森林文化（地域づくり）の創造

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備 考
1) 魅力ある地域づくりの推進	ア 丹波の森大学の開設 (協会事務局)	「丹波の森構想」を実現するための学習の場として、個性豊かで誰もが幸せに暮らせる地域づくり・環境づくり、そしてそれを支える「もり(森・守・盛)びと」づくりなど、将来の丹波地域を創造するための講義と現地学習を交えた講座を開催する。	○第29期は、地域に根付く課題解決に繋がる身近で実践的な講義を取り入れ、多世代が参加しやすい土曜日の午前の開催とする。 テーマ 「多世代の森」 ・実施時期： 5月～1月 9回開催 ・定員： 50人 ・受講料： 8,000円(学生は無料)	【予算額】 1,169,000 【前年度予算額】 1,167,000
	イ ウィーン親善訪問事業 (協会事務局)	自然保護や環境保全景観形成など、共通の取組を進めているウィーン親善等へ親善訪問団を派遣し、丹波の森構想のモデル地域の状況・生活を体験する。	○ウィーン親善訪問準備 (H32年度実施予定) 前回の訪問から3年目となることから交流を検討する。 ○丹波の森のシンボル(オオムラサキ)への支援 丹波の森のシンボルである国蝶オオムラサキの保護活動に支援することで丹波の森とウィーン親善の相互交流をPRする。	【予算額】 236,000 【前年度予算額】 208,000
	ウ 丹波の森研究所 (協会事務局)	「丹波の森構想」(人・自然・文化・産業の調和した地域づくり)を推進するために、研究員の確保と資質の向上、地域づくり等に関する調査研究・提言・支援などの能力の向上、研究所の方向検討、時代に対応した研究テーマの発掘などを進める。	○丹波の森づくりの推進にあたり地域課題に向けた調査研究 【調査研究テーマ(新規)】 住み続けられる集落(小規模集落を対象) 生物多様性保全に向けた取り組み ○丹波の森構想推進連絡調整会議への参画 丹波の森づくりを推進するため、県民局、篠山市、丹波市、協会にて調整会議を設置	【予算額】 5,694,000 【前年度予算額】 4,468,000
	エ 地域づくり支援事業			
	・ 地域づくり支援事業(協会事務局)	活力と魅力ある丹波の森(地域)づくり推進に向けて、地域・行政・大学・NPO等と連携協働しながら、地域づくりのための調査研究、重点地区の支援(アドバイザー派遣)、地域の取り組みや活動へのコーディネート業務などを行う。	○地域づくり重点地区への支援(アドバイザー派遣) ワークショップによる現況把握や課題整理、助言等を行い、地域づくりの支援を行う。 (4箇所、年3回程度/箇所) 場 所：高 校(地域探究活動の学習支援) (内容) 小 学 校(学校林再生プロジェクト) 企業(森づくりサポート) 集 落(地域課題解決) ○雑木めぐり事業のコーディネート業務等 ・かみばら雑木めぐり実行委員会に出席し、助言等を行う。(年5回程度) ・丹波雑木めぐり交流会の開催(篠山市、丹波市、亀岡市)の3市連携雑木まつり) ○三たん連携地球育ミュージアム研究会 丹波、丹後、但馬の三たん地域の環境学集拠点施設に関し、研究会との連携を図るとともに、PR事業や実施方法の提案を行う。 ・開催：年2回程度(6月、9月ころ)	【予算額】 1,604,000 【前年度予算額】 1,822,000
	・ たんば恐竜・哺乳類化石を活かしたまちづくり事業(協会事務局)	篠山層群で発見されて世界的にも稀少な恐竜・哺乳類化石等をテーマとして市民主導による持続的な地域づくりを推進するため、観光資源、特産品等の開発、人材育成などを進める。	○丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進調整会議の開催 ・月1回程度開催し、事業全体の調整を行う。 ○事業の推進体制の整備 ・事業ディレクターの設置 各事業実施にあたり、地域、住民、関連機関、事業者などとの連絡調整を行う。 全体会議(月1回)、ツアー事業調整等 ・事業プロデューサーの設置 事業プログラム・新規ツアーの企画、事業の総合プロデュースを行う。 全体会議(月1回)、企画書作成	【予算額】 3,852,000 【前年度予算額】 2,000,000 (丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会受託)

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	・丹波地域の花と緑の啓発イベント開催事業 (協会事務局)	丹波地域の住民団体等が参加するミニガーデンの展示イベントを実施し、身近なお庭などを花で彩り、地域を活性化するオープンガーデンなど花と緑の美しい地域づくりの活動を普及啓発する。	○ミニガーデン・ワークショップの開催 内 容：参加者を公募し、計画から製作までをワークショップ形式で実施 花づくり愛好家との交流を促進し、地域での花づくりを推進 開催月：10月 ○たんばオープンガーデン交流促進 オープンガーデン参加者(地域38箇所)との意見交換や参加者と地域住民との交流を実施し、地域全体に美しい村づくりを拡げる。 ・ガーデン実施時期：4月下旬～5月下旬 ・交流イベント：10月	【予算額】 783,000 【前年度予算額】 600,000 (丹波県民局受託事業含む)
	・交流実践スキルアップ事業 (協会事務局)	丹波地域の住民が主体的・計画的・継続的に地域資源の発掘・活用・発信、都市等との交流などを実施できるようなノウハウの醸成を進め、地域の元気づくりを図る。	都市との交流などを実施できるようなノウハウの醸成を進め、地域の元気づくりを進める。 ・ワークショップの開催 対 象：まちづくり協議会・自治協議会など 内 容：・交流実践地区の先駆事例調査 ・現地学習、意見交換 ・まちづくり交流会の開催 対 象：ワークショップ参加者、一般 内 容：講演、体験学習報告など	【予算額】 1,400,000 【前年度予算額】 0 (丹波県民局受託事業)
	・丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業 (協会事務局)	丹波地域では、昭和63年に「丹波の森宣言」を採択し、地域全体を一つの森としてとらえ、自然と人と文化が調和した地域づくりを進めてきた。宣言採択から一世代30年が経ち、これまでの成果を記念するとともに、次の30年に向け、「美しい里山」の大切さを再認識し、これを次の世代へと繋いでいく取組を丹波県民局、篠山市、丹波市及び兵庫丹波の森協会が共同して推進する。	○丹波の里山づくり発信事業 丹波の里山づくりを行うモデル団体を公募により選定し、アドバイザーを派遣するなどの支援を行うことで、長期にわたりモデル団体の活動を広く市民へ発信する。 ・モデル団体の選定 丹波の里山づくりを行うモデル団体を公募により選定し、選定されたモデル団体にアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援する。	【予算額】 2,000,000 【前年度予算額】 2,000,000 (丹波の里山づくり促進事業実行委員会受託事業)
	・シンボルの森整備事業 (協会事務局)	丹波の森づくり30周年を契機として、地域住民が里山を楽しみ、愛する施設として、また里山の魅力を伝え、地域各地に里山整備を広げることを目的に、各施設毎の特徴を生かした丹波の森を象徴する上質な里山を整備する。	シンボルの森(丹波の森公園、丹波並木道中央公園、ささやまの森公園)の裏山を丹波の森を象徴する里山に整備する。	【予算額】 15,000,000 【前年度予算額】 0 (丹波県民局受託事業)
オ	花づくり活動支援事業(丹波の森公苑)	花と緑あふれる美しい丹波づくりを推進するため、地域の花づくり愛好家などを対象に、園芸や緑化活動に関する学習機会を提供する。	○花と緑の教室(基礎講座) 内 容：草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 講 師：県立フラワーセンター職員 日 程：5月～3月 (年6回：原則として奇数月に開催) 募集定員：70人(午前・午後の部とも各35人) 受講料：15,000円(年間) ○花と緑の教室(自主活動グループ) 「花と緑の教室」で知識・技術を習得した者をリーダーに、地域単位で教室を開催 内 容：草花等の育成に関する知識修得、寄せ植えを中心とした実習 日 程：5月～3月 (年6回：原則として奇数月に開催) 募集定員：15人 受講料：13,000円(年間) ○園芸教室(応用創作講座) 内 容：コンテスト出展を目指し、鉢と草花の選び方から園芸に関する基本を学ぶ。 講 師：但馬高原植物園植栽主任 田丸和美 日 程：5・6・7・10・12・3月(年6回) 募集定員：36人 受講料：6,000円	【予算額】 2,520,000 【前年度予算額】 1,200,100

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	カ 丹波の森フェスティバルの開催 (丹波の森公園)	地域住民をはじめ、各種団体や企業、篠山市・丹波市など丹波の森づくり団体の交流の機会を提供するため、丹波の森フェスティバルを開催する。	丹波の森づくり 30周年を機に、体験事業やワークショップを取り入れたフェスティバルを開催する。 開催日：10月27日(日) (予定) (丹波GOGOフェスタと同時開催予定)	【予算額】 422,000 【前年度予算額】 360,000
	キ 丹波の森収穫祭 (なみきみちまつり)の開催 (並木道中央公園)	丹波地域の数多い特産物の収穫を祝うとともに、大人も子どもも楽しめるプログラムを実施することによって都市部からの来場を図り、地域住民と都市住民との交流を深める場とする。 また併せて、丹波地域において取り組まれている「フィールドミュージアム構想の推進」や「森づくり活動」「里山再生」などの活動状況を広くPRし、参画と協働を呼びかける。	「収穫祭」を実りのあるイベントにするためには、地域との連携が何より重要であるため、地域住民を中心とする実行委員会を立ち上げ、兵庫丹波の森協会と共催にて実施する。 また、農業、観光及び恐竜化石など地域資源の創造と保全を担う諸団体や丹波県民局、篠山・丹波両市にも実行委員会の構成団体として参加いただく。具体的な催し内容としては、「食・森・楽・音・竜」の5テーマを基調にさまざまなプログラムを展開していく。 開催日：10月6日(日) (予定)	【予算額】 1,522,000 【前年度予算額】 689,000
	ク 丹波年輪の里事業 (丹波年輪の里)	木とのふれあいの中で、木工クラフトを中心に、スポーツ、レクリエーションの活動を促進するため、各種の事業を実施する。	地域の木工クラフトの創造・創作活動の拠点として、木とのふれあいの中で、物づくりの楽しさを伝えるとともに、「暮らしの中に木を取り入れる」ことをねらいとして木の普及振興に努める。 ○工作室における木工クラフトの指導(通年) ○ゴールデンウィークフェスタの開催 (4月、5月) ○アトリエ作品展(4月、5月) ○芝生広場を活用するグラウンド・ゴルフ事業 (週3回、通年) ○第3回たんば絵てがみ展 ○木に関する情報を提供する事業 ・木材に関する情報収集・提供 ・研修会の開催 ・木の普及振興事業 ・木育キャラバン事業	【予算額】 2,492,000 【前年度予算額】 2,463,000
	ケ 丹波並木道中央公園事業 (並木道中央公園)	兵庫県園芸・公園協会とのJVによる指定管理の代表者として、次の目的を達成するため、公園運営を行う。 ① 利用者が快適かつ安全に利用できる公園管理 ② 多彩な企画プログラムやイベントの実施 ③ 当公園の特性を考慮した質の高い園地や植物の管理 ④ 利用者の声を反映した平等かつ公正な運営 ⑤ 公園立地地域及び住民との広範な連携と協働 ⑥ 公園立地の自然環境に配慮した管理運営 ⑦ 当協会及び兵庫県園芸・公園協会が運営する公園施設との連携 ⑧ 公園運営の住民参画の推進 ⑨ 丹波県民局、篠山市及び丹波市との連携	○利用促進事業(自主事業・参加型プログラム)の企画・運営(環境学習事業、都市・農村の交流事業、地域づくり支援、企業参加の植樹・森林整備、赤米・黒豆の栽培、木工教室、恐竜の発掘体験など) ○効果的な広報・PRの実施 ・「PARK LIFE」の発行(年4回) ・ホームページの充実 ○協会が管理運営する事業所及び兵庫県園芸・公園協会が管理運営する公園との連携 ○公園の立地する地域団体等との協働事業 ○丹波県民局、篠山市及び丹波市が実施する地域活性化のための諸施策への協力 ・「丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム」の拠点施設として、この地域資源を活かした関係各機関の取組みや、園内の「篠山市立太古の生きもの館」との連携・協力	【予算額】 2,128,000 【前年度予算額】 2,128,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(2) 生物多様性保全に向けた豊かな地域づくりの推進	ア 丹波の森公苑里山事業(丹波の森公苑)	<p>丹波の森公苑の里山を活動の場とし、里山の自然や生き物とのふれあいを通じて、森づくりに参画する人材の育成を図る。</p> <p>また、緑豊かな森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するとともに、丹波の里山に国蝶オオムラサキが舞う姿を取り戻し、良好な里山環境を次世代に繋げていくため、オオムラサキの飼育展示や地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p>	<p>○ 里山ボランティア(森づくりスタッフ)養成事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・森づくり講座の開設 里山の保全・管理活動に興味を持っている人や技術修得をめざす人を対象に、丹波の森公苑里山を拠点とした研修の実施。 日 程：6月～12月、4講座、計9回開催 募集定員：各回5人 ・里山及び環境学習体験フィールドの整備 森づくり講座受講生等を中心とした自主活動グループ「里山倶楽部(H15創設、会員数26人)」及び「里山整備サポーター(H30創設、会員数15人程度)」に活動の場を提供することにより、苑内里山の間伐、遊歩道整備、草刈り、生き物飼育場の整備を行う。 <p>○ 森づくり活動アドバイザーの設置</p> <p>緑豊かな丹波の森づくりに向けた住民の主体的な活動を支援するため、森づくり活動アドバイザー(2人)を配置。教育機関等からの要請により、森づくりアドバイザーを派遣し、森づくりや環境学習の相談・指導・支援を行う。</p> <p>○ 国蝶オオムラサキの舞う里山づくり</p> <p>オオムラサキの飼育展示を行うとともに、兵庫丹波オオムラサキの会と連携し、地域でのオオムラサキの生息環境整備を促進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・体験飼育展示 ・小学校等、地域での飼育指導(21小学校、1高校、10事業所) ・第10回記念放蝶会：7月7日(日) ・国蝶オオムラサキの舞う里山イメージ画コンテストの実施 	<p>【予算額】 690,000</p> <p>【前年度予算額】 715,800</p>
	イ 丹波地域生物多様性保全学習事業(協会事務局)	<p>平成30年度に実施した丹波地域生き物実態調査の結果を踏まえ、同地域における生物多様性の現状や保全の重要性について、地域住民の理解を促進するとともに、地域団体の活動を支援することにより、同地域の生物多様性の保全を図り、丹波の森づくりをさらに推進する。</p>	<p>○ 生物多様性調査を生かした環境学習事業の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成30年度の調査結果を踏まえ、協会が管理する施設で行う環境学習事業で教材として利用するなど、その周知を図っていく。 <p>○ 生物多様性の保全に向けた情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波地域の生物多様性の現状や保全の重要性を自然保護団体や県・市の会議等において情報を発信し、地域住民全体に生物多様性の保全に係る意識を広げていく。 ・自然保護団体等が環境学習を行う場合に、生物多様性に係る教材を提供するなど生物多様性に係る活動調査を支援していく。 <p>○ 生物多様性保全の意識向上</p> <p>地域での実践活動が行えるよう、市民の意識を高め、市民・行政の取組を広げていく。</p>	<p>【予算額】 400,000</p> <p>【前年度予算額】 0</p>
	ウ ささやまの森公園事業(ささやまの森公園)	<p>人と自然が共生する豊かな里山づくりを推進するため、ボランティア活動スタッフ等の参画と協働により、(ア)基本プログラム(里山体験・里山伝承・自然学習・レクリエーション・里山復元)の実施を柱に、(イ)特別プログラム(里山まつり・特別企画等)や、(ウ)団体プログラム(園内散策・木工クラフト等)などを実施することにより、里山の保全と創造を進め、交流の場、ふれあいの場を提供する。</p>	<p>○ 基本プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山体験班：草木染め、布スリッパ作り、しめ縄作り等 ・里山伝承班：黒豆栽培、そば道場、ちまき作り等 ・自然学習班：バードウォッチング、植物観察、ヒメボタルの観察等 ・レクリエーション班：深山登山、源流体験、とんど等 ・里山復元班：炭焼き体験、シイタケ作り等 <p>○ 特別プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山まつり、里山の日特別企画、里山コンサート、里山落語、講演会等 <p>○ 森の学校(第12期生)</p> <p>○ 団体プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・団体利用：葉脈しおり作り、木工クラフト等 ・篠山東雲高校「里山文化」授業の支援 	<p>【予算額】 7,802,000</p> <p>【前年度予算額】 7,177,000</p>

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(3) 生物多様性を育む地域とのふれあい事業の推進	ア 丹波の森公苑環境学習推進事業 (丹波の森公苑)	里山の自然や生き物について体験的に学ばせるため、自らが日々の暮らしや生活行動を見直す機会をつくる環境学習を行う。	<p>○子ども対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・丹波縄文の森塾の開催 内 容：里山探索、生きもの観察、縄文キャンプ(2泊3日)、土器焼き、ツリーイング、草木染め、夜間昆虫観察等 期 間：4月～3月(毎月1回) 募集定員：小学3年～6年生 24人 参加費：6,500円、キャンプ6,500円(別途) <p>○親子・家族対象プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山ふれあいハイキング 日 程：4月29日(月・祝) 募集定員：30人 参加費：300円(小学生以上) ・さわってみ丹波いきもの大集合 日 程：7月13日(土)～14日(日) 会 場：ゆめタウン丹波 ・国蝶オオムラサキの越冬幼虫探し 日 程：3月 募集定員：30人 <p>○リーダー養成プログラム</p> <p>縄文の森塾の運営に携わる「自然体験活動サポーター」を設置。高校・大学生、社会人が毎月の塾活動を支援しながら、自然体験活動のノウハウを培う。</p> <p>○環境学習支援プログラム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・里山の秋の実り体験 期 間：9月～10月 参加者：篠山市及び丹波市内の保育園児、幼稚園児・小学生及び引率者 ・苑内樹木銘板の懸架 丹波の森づくり30周年を記念し、来苑者に苑内樹木への興味を持っていただき、里山の自然や植物について学ぶ契機とするため、苑内樹木に樹木名等を記載した銘板を掛ける。 期 間：平成30～31年度の2カ年 懸架者：公苑事業への参加者、出席者等を中心とした来苑者 銘板数：各年100枚程度 ・出前講座の実施 ・公苑における学習支援 	<p>【予算額】</p> <p>1,132,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>1,259,000</p>
(4) 公1共通経費	ア 施設運営・管理	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公1 森林文化(地域づくり)の創造事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	<p>【予算額】</p> <p>153,632,000</p> <p>(事) 4,398,000</p> <p>(苑) 15,565,000</p> <p>(輪) 73,577,000</p> <p>(さ) 20,025,000</p> <p>(並) 40,067,000</p> <p>【前年度予算額】</p> <p>155,454,000</p>

公2 生活創造活動への支援

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 地域・団体活動の支援	ア 生活創造活動支援事業(消費生活を含む)(丹波の森公苑)	丹波地域の団体・グループ等の生活創造活動の情報を収集・発信し、団体・グループ活動を支援する。	・グループ活動コーナーの提供 ・情報発信のための印刷機械や情報ボックスの提供 ・生活創造活動グループサポート事業 ・丹波の森公苑内でのイベント等への支援	【予算額】 — 【前年度予算額】 —
		消費者被害防止のための普及啓発を実施する。	・消費生活出前講座の実施(年20回程度) ・消費生活にゆーすの発行(年4回)	
	イ 生活創造活動施設貸し館業務(丹波の森公苑)	県民の生活創造活動のために施設を貸与する。	会議室、多目的ルーム、ホール、練習室等について、統一的な基準により貸与する。	
	ウ スポーツ大会・文化教室の開催(丹波年輪の里)	地域のスポーツ・文化活動を促進するため、イベント広場などを利用する少年サッカー大会、グラウンド・ゴルフ大会を開催する。また、工作室を利用する木工特別教室、こどもの読書を促す絵本の読み聞かせ、アトリエを利用するサークル教室などを開催する。	○特別工作教室 ○コバ栢原少年サッカー大会の開催 ○グラウンド・ゴルフ大会(年4回予定) ○親子で音楽や絵本などを楽しむ会(年2回予定) ○アトリエサークル教室の開催	【予算額】 2,541,000 【前年度予算額】 2,659,640
(2) 生涯学習の場の提供	ア 兵庫県地域高齢者大学4年制大学講座(丹波OB大学)の開設(丹波の森公苑)	生涯学習の一環として、高齢者が生きがいのある充実した生活基盤を確立するため、学習と交流の機会を提供するとともに、社会の担い手として永年培ってきた知識や経験をより磨き、魅力ある地域社会を創り出す実践者を養成する。	【丹波OB大学】 ・学習年限：4年 ・募集定員：各学年60人 ・講座内容：教養講座、専門講座(健康福祉、地域文化、生活創造)、特別講座 ・開催時期：4月～3月までの18回 ・受講料：12,500円 【丹波OB大学大学院】 ・学習年限：2年 ・募集定員：各学年30人 ・講座内容：教養講座・特別講座、課題・実践演習、事例研究、実践活動 ・開催時期：4月～3月までの18回 ・受講料：12,500円	【予算額】 2,358,000 【前年度予算額】 1,854,500
	イ 兵庫県地域高齢者大学地域活動実践講座(丹波OB大学大学院)の開設(丹波の森公苑)			
	ウ 講座「丹波学」の開設(丹波の森公苑)	丹波地域の多彩な資源や魅力を再発見し、主体的に地域づくりに参画しようとする意欲の高揚に結びつけるため、学習の機会を提供する。	・テーマ：戦略のクロスポイント「丹波」～権力者たちの見たもの～ ・日程：8月～12月の間、全5回 ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム ・募集定員：120人 ・受講料：5,000円	【予算額】 680,000 【前年度予算額】 680,000
	エ 学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催(丹波の森公苑)	丹波地域で学ぶ高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	・日程：9月27日(金) ・場所：丹波の森公苑ホール、多目的ルーム等 ・内容：記念講演、高齢者の主張、芸能発表作品展 ・参加者数：600人(丹波地域内の高齢者大学受講生など)	【予算額】 300,000 【前年度予算額】 340,000
(3) 明日を担う丹波っ子の育成	ア トライやる・ウィーク等受入	中・高生が働くことの大切さや厳しさを学ぶため、職場体験の場を提供する。	中・高校生にとって、ふさわしい体験プログラムの実施。 ・トライやる・ウィーク(中学生) 6月4日(火)～8日(土)	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000
	イ 丹波の森子どもミュージカル体験塾の開催(丹波の森公苑)	豊かな感性や表現力、コミュニケーション能力を育むとともに、子どもたちが創造する楽しさを体験し舞台芸術に親しむことを通して、舞台芸術創造活動のすそ野の拡大を図り、青少年健全育成に資するため、将来の芸術文化を担う子どもたちにミュージカル体験機会を提供する。	【レッスン】 ・日程：7月～10月までの15回 ・対象者：小・中・高校生 ・募集定員：40人 ・指導：劇団ウエスト ・受講料：6,000円 【発表公演(「劇団ウエスト」の俳優との共演)】 ・日時：10月20日(日) 2回公演 ・場所：丹波の森公苑ホール ・演目：未定 ・入場料：大人700円、高校生以下無料	【予算額】 1,615,000 【前年度予算額】 1,615,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	ウ 丹波の森公苑長杯 ふれあい中学生ソフト テニス大会の開催 (丹波の森公苑)	篠山市・丹波市の将来を担う青少年の健全育 成を図るため、ソフトテニスを通じた中学生の 交流の場を提供する。	・日 程：4月28日(日) ・場 所：丹波の森公苑テニスコート ・参加者：中学生 200人 (男子50ペア・女子50ペア) ・参加料：1ペア500円	【予算額】 68,000 【前年度予算額】 68,000
	エ 丹波(篠山市・丹波 市)のむかしばなし 語りベクラブの活動 支援(協会事務局)	子どもの健やかな成長とところ豊かな地域 づくりを願い、兵庫丹波の森協会が発行してい る「丹波(篠山市・丹波市)のむかしばなし」 (全10集)を活用し、家庭や地域に広める活 動を推進するため、大型紙芝居等の作成・修復 に対する助成や研修会を開催する。	○語りベクラブの支援 ・語りベクラブ(篠山市1団体、丹波市4団体) が、年間延べ140回にわたり丹波のむかしばな しを語り継ぐ活動を保育所、小学校、その他施 設等で行っている。その活動を支援するととも に「むかしばなし」をホームページ等で全国に 向けてPRする。	【予算額】 113,000 【前年度予算額】 71,000
(4) 公2共 通経費	ア 施設運営・管理	公2 生活創造活動への支援事業を推進する ための人件費及び施設の維持管理費	公2 生活創造活動への支援事業を推進する ための人件費及び施設の維持管理費に支出して いる。	【予算額】 74,480,000 【前年度予算額】 158,570,600

公3 芸術文化の振興

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 舞台芸術鑑賞機会の提供	ア 丹波の森国際音楽祭シューベルティアーデたんばの開催	国内外からアーティストを招聘し、地域交流・国際交流の輪を広げるコンサートを開催する。 ・シューベルティアーデたんば25周年を記念し、合計25か所でのコンサートを開催 ・オリジナル企画でシューベルトの音楽を楽しむ交流を深める「オープニング・コンサート」「ミドル・サロンコンサート」「ガラ・コンサート」を開催 ・丹波地域の住民等が企画・運営する街角コンサートの実施 ・丹波地域の幼・小・中・高・特別支援学校園へ出向いて行う「ふるさと音楽ひろば」、「キン・コン・カン・コンサート」の実施等	・テーマ：(調整中) ・開催期間：9月1日(日)～11月16日(土) 「シューベルティアーデたんば25周年記念企画」として25か所でコンサートをを行う ○オープニング・コンサート ・日程：9月1日(日) ・場所：田園交響ホール(篠山市) ・入場料：2,500円(当日3,000円) ○ミドル・サロンコンサート ・日程：9月28日(土) ・場所：お菓子の里丹波(篠山市) ・入場料：3,000円(当日3,500円) ※ケキ、お茶付き ○ガラ・コンサート ・日程：11月16日(土) ・場所：丹波の森公苑ホール ・入場料：2,500円(当日3,000円) ○PRコンサート ・時期7月～10月 ・大都市(5か所) ・兵庫県内各地(4か所) ・丹波地域各地(3か所) ○街角コンサート(丹波地域2市10会場) ○ふるさと音楽ひろば(小学校10校程度) ○キン・コン・カン・コンサート(中・高校3校程度) ○東日本大震災復興支援(被災地訪問) ○協賛コンサート	【予算額】 6,200,000 (県民局) 4,700,000 (協会) 500,000 (公苑) 1,000,000 【前年度予算額】 1,500,000
	イ 丹波の森公苑ホール等自主事業(丹波の森公苑)	地域文化の高揚と芸術の香り高い暮らしを創造するため、県民に優れた芸術を鑑賞する機会を提供する。	・日程：2月(予定) ・場所：丹波の森公苑ホール ・内容：コンサート(内容検討中) ・入場料：検討中	【予算額】 758,000 【前年度予算額】 358,000
(2) 芸術文化活動の振興	ア アートクラフトフェスティバル in たんばの開催(丹波年輪の里)	丹波地域におけるクラフト文化の向上、創作活動を普及させるため、全国各地で活動するクラフトマンが一堂に集い、芝生広場など苑内での自由な作品展示、来園者との交流を行う。	○第28回アートクラフトフェスティバル in たんば2019 ・日程：10月5日(土)～10月6日(日) ・出展予定者：180名	【予算額】 400,000 【前年度予算額】 400,000
	イ 丹波の森ウッドクラフト展(木のおもちゃ展)の開催(丹波年輪の里)	趣旨一集合！遊び・戯れ・木のぬくもり「人に優しい木を素材とし、遊び心を大切にしながら、自分の手で創造の喜びを作り出す」をテーマに木工クラフト普及を目的に全国公募展を開催する。	○第32回丹波の森ウッドクラフト展 ・全国公募 一般の部、ジュニアの部 ・作品展示 一般の部：9月～10月 ジュニアの部：10月～11月 ・場所 年輪の里木の館ホール ・表彰式 11月	【予算額】 900,000 【前年度予算額】 900,000
	ウ 丹波の森アート作品展の開催(丹波の森公苑)	広く美術家、美術愛好家に創作活動の発表の場を提供するとともに、県民や県内芸術家との交流を図る。	○新春書き初め展 ・日程：①1月29日(水)～2月2日(日) ②2月6日(木)～10日(月) ・場所：①丹波の森公苑多目的ルームほか ②篠山市立四季の森生涯学習センター(予定) ○文化賞受賞者小品展 ・日程：10月30日(水)～11月4日(月・祝) ・場所：丹波の森公苑多目的ルーム	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 120,000
	エ 展示ギャラリーの開設(丹波の森公苑)	創作あるいは地域づくり活動に励む人々に展示や発表機会を設け、世代や分野を超えた交流を深めるとともに、創作活動のサポートを行う。	年間30回程度を目途に作品展示を実施	【予算額】 10,000 【前年度予算額】 10,000

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
	オ 伝統文化活性化支援事業 (丹波の森公苑)	地域の伝統文化を保存・継承するため、青少年が伝統文化に親しみ理解を深めることができるようにするため、学校等において伝統文化を学習・体験する場づくりを支援する。	○民俗芸能発表・鑑賞機会の提供 ・日程：6月2日(日) ・場所：丹波の森公苑ホール ・出演：第11回丹波の森童謡・唱歌の祭典の民俗芸能特別鑑賞部門に出演(調整中) ○子どもたちのための和楽器観賞会(丹波文化団体協議会による出前授業) ・日程：11月～1月の間 ・場所：丹波管内の小学校10校	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000
	カ 座っ展-丹波で座る木の椅子- (丹波年輪の里)	丹波地域に木工クラフト文化の定着を図るとともに、丹波地域を中心に創造活動する木工作家の技術の向上を目指し、「椅子」の展示会を開催する。「座る・触る」ことにより、作品のすばらしさを体験することができる。	「第8回座っ展-丹波で座る木の椅子-」 【作品展示】 期 間：4月27日(土)～5月6日(月) 場 所：年輪の里木の館ホール 出展予定者：13名、35脚	【予算額】 120,000 【前年度予算額】 130,000
(3) 公3 共通経費	ア 施設運営・管理	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費	公3 芸術文化の振興事業を推進するための人件費及び施設の維持管理費に支出している。	【予算額】 27,241,000 【前年度予算額】 27,001,000

公共 丹波地域情報の発信等

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 丹波地域情報の発信等	ア 情報発信等	みんなで参画と協働の地域づくりを進めるため、丹波の森づくりをはじめ、地域の各種実践活動等の情報を全国に発信する。 また、ホームページを充実し、タイムリーな情報を提供する。	○年報(年1回発行) ・HP等に掲載 ○協会ニュース2019 12月発行予定 関係団体に配布及びHPに掲載 ○ホームページによる情報発信 ・随時更新 ○フェイスブックによる情報発信 ・随時更新 ○協会発行誌のPR ○フェノロジーカレンダー作成による情報発信 ○丹波ブランド製品のPR	【予算額】 993,000 (局) 150,000 (苑) 843,000 【前年度予算額】 955,000
	イ 運営委員会の開催	地域の参画による事業運営を行うため、たんばの地域住民、行政関係者及び学識経験者で構成する運営委員会を設置する。	○丹波の森公苑運営委員会 ○丹波年輪の里運営協議会 ○ささやまの森公園運営協議会 ○丹波並木道中央公園 森の円卓会議	【予算額】 407,000 (苑) 200,000 (輪) 77,000 (さ) 50,000 (並) 80,000 【前年度予算額】 397,000
	ウ 丹波の森づくり30周年記念事業これからの展開	丹波の森構想策定から30周年のこれまでの姿、事業取り組み、そして、これからの環境変化なども踏まえた事業等をそれぞれ市民・行政・協会等の意見やシンポジウムで発表された内容をはじめ、関連事業のまとめを作成するとともにPRする。	○ロゴ・シンボルマークの活用 ○丹波の森づくりのこれからのまとめを整理しPRする。	【予算額】 400,000 【前年度予算額】 0

II 収益事業会計等

収1 利用者への利便提供等事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 利用者への利便提供等事業	ア 利用者への利便提供等事業 (丹波の森公苑) (丹波年輪の里) (並木道中央公園)	1 公益目的以外の施設の貸与 県立丹波の森公苑及び県立丹波年輪の里において、公益目的以外の施設貸与を行う。 2 施設利用者への利便提供事業 (1) 管理運営施設における飲み物自動販売機の設置 (2) 管理運営施設における物品販売場所の提供 3 木の普及及び木工クラフト普及のための木工クラフトキット、加工木材等の販売	1 公益目的以外で施設を貸与している。 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 2 施設利用者への利便提供事業 ・丹波の森公苑 ・丹波年輪の里 ・丹波並木道中央公園 (1) 飲み物の自販機設置 (2) 物販販売場所の提供 ・丹波年輪の里 レストラン施設貸与 3 木工クラフトキット、加工木材等を販売	【予算額】 5,462,000 (苑) 1,512,000 (輪) 3,710,000 (並) 240,000 【前年度予算額】 5,713,000

他1 芸術文化団体等活動支援事業

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 芸術文化団体等活動支援	ア 芸術文化団体等への活動支援 (丹波の森公苑)	丹波の森公苑を拠点として、芸術文化団体等が活発な活動を展開できるよう支援する。	○丹波文化団体協議会 ・構成団体数：30団体 ○日本の童話・唱歌を広める会 【第11回丹波の森童話・唱歌の祭典】 ・日 程：6月2日(日) ・場 所：丹波の森公苑ホール ○丹波の森ふれあいステージ実行委員会 【丹波の森ふれあいステージ】 ・日 程：6月1日(土) ・場 所：丹波の森公苑ホール	【予算額】 200,000 【前年度予算額】 200,000

III 法人会計

項目	事業名	事業目的(内容)	事業計画	備考
(1) 法人会計	ア 協会維持運営	・ 評議員会・理事会開催費 ・ 協会事務局管理部門の person 費及び維持運営費	○評議員会 ○理事会 ○監事監査 ○協会事務局管理部門の person 費及び維持管理費	【予算額】 12,810,000 (局) 12,499,000 (苑) 95,000 (輪) 66,000 (さ) 30,000 (並) 120,000 【前年度予算額】 12,933,000

平成31年度 補助事業等事業一覧表

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県補助金等収入 県補助金収入	地域振興事業補助金	兵庫県	本格的な成熟社会を迎え、自立した人々が自然と共生し、生き生きと暮らし、ともに生きることを実感できる地域社会を築くべく、県民一人ひとりの参画と協働による自律的な実践活動をより幅広く支援する観点から、地域住民や民間団体が行う地域ビジョンの推進及び地域固有の課題解決に資する各種活動等に対して助成を行う。	5,800	事務局
	丹波の森公苑事業運営費	兵庫県	県立丹波の森公苑の事業運営業務を行う。	3,683	森公苑
	丹波年輪の里業務運営費	兵庫県	県立丹波年輪の里の事業運営業務を行う。	2,670	年輪の里
	ささやまの森公園業務運営費	兵庫県	県立ささやまの森公園の事業運営業務を行う。	17,521	ささやまの森公園
県補助金等収入 県負担・分担金収入	経費分担金	丹波県民局	コピー機等共通経費分担金	600	森公苑
市補助金等収入 市負担・分担金収入	兵庫丹波の森協会負担金	篠山市 丹波市	兵庫丹波の森協会の管理運営業務を行う。	18,300	事務局
その他の補助金等収入 その他の負担・分担金収入	分担金	(公財)兵庫県 青少年本部等	コピー機等共通経費分担金	50	森公苑
	丹波の森アートフェスティバル	(公財)兵庫県 芸術文化協会	兵庫県芸術文化協会負担金	30	森公苑
その他補助金等収入 その他補助金収入	子どもゆめ基金助成金	独立行政法人 国立青少年教育 振興機構	子どもの体験活動の推進に向けた様々な取り組みが求められている中、子どもゆめ基金は、未来を担う夢を持った子どもの健全育成を推進するため、地域の団体等が実施する様々な体験活動や取り組み、体験活動の振興を図る取り組みの視野を広げる様な活動を中心に支援を行う。今回、助成対象となったのは、丹波縄文の森塾の子どもの体験活動(キャンプや自然観察などの自然体験活動)である。	440	事務局
	木育キャラバン事業	兵庫県木材業 協同組合連合 会	子育て世代を対象に県民の県産材利用への関心を高めるため、木の玩具・遊具にふれる体験を県下各地の幼稚園・保育園で開催する。	360	年輪の里
県受託収入 指定管理料収入	県立丹波の森公苑指定管理	兵庫県	県立丹波の森公苑の管理運営業務を行う。	108,696	森公苑
	県立丹波年輪の里指定管理	兵庫県	県立丹波年輪の里の管理運営業務を行う。	73,192	年輪の里
	県立ささやまの森公園指定管理	兵庫県	県立ささやまの森公園の管理運営業務を行う。	9,215	ささやまの森公園
	県立丹波並木道中央公園指定管理	兵庫県	県立丹波並木道中央公園の管理運営業務を行う。	38,930	並木道中央公園
県受託収入 その他受託収入	交流実践スキルアップ事業	兵庫県	丹波地域の住民が主体的・計画的・継続的に地域資源の発掘・活用・発信、都市等との交流などを実施できるようなノウハウの醸成を進め、地域の元気づくりを図る。	1,400	事務局
	丹波地域の花と緑の啓発イベント開催事業	兵庫県	丹波地域の住民団体等が参加するミニガーデンの展示イベントを実施し、身近なお庭などを花で彩り、地域を活性化するオープンガーデンなど、花と緑の美しい地域づくりの活動を普及啓発する。	600	事務局

(単位:千円)

科目名	事業名	相手先	業務内容	契約金額	備考
県受託収入 その他受託収入	シンボルの森整備事業	兵庫県	シンボルの森(丹波の森公苑、丹波並木道中央公園、ささやまの森公園)の裏山を丹波の森を象徴する里山に整備する。	15,000	事務局
	都市公園整備費	兵庫県	丹波並木道中央公園の維持修繕業務を行う。	1,000	並木道中央公園
市受託収入 その他受託収入	太古の生きもの館の施設管理	篠山市	篠山市立太古の生きもの館の施設管理業務を行う。	150	並木道中央公園
その他受託収入	学ぶ高齢者のつどい丹波ブロック大会の開催	(公財)兵庫県生きがい創造協会	丹波地域出身高齢者が一堂に会し、高齢者の主張・芸能発表や、創作作品の展示を通して日頃の学習活動の成果を発表し、お互いに学びあい交流を深め生きがいと健やかな社会づくりの輪を広げる。	300	森公苑
	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム関連事業に係るディレクター及び総合プロデュース業務	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進協議会	丹波地域恐竜化石フィールドミュージアム推進事業ディレクター及び総合プロデュースに関するを行う。	3,852	事務局
	丹波地域のモデルとなる里山づくり活動団体支援事業	丹波の里山づくり促進事業実行委員会	丹波の里山づくりを行うモデル団体を公募により選定し、選定されたモデル団体にアドバイザーを派遣し、里山づくり活動を支援する。	2,000	事務局

303,789

収支予算書 (損益ベース)

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

平成31年04月01日 から 平成32年03月31日 まで

(単位: 円)

科 目	予 算 額	前年度予算額	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益	2,020,000	2,022,000	△2,000
基本財産受取利息	2,020,000	2,022,000	△2,000
特定資産運用益	1,000	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	1,000
受取会費	170,000	170,000	0
賛助会員受取会費	170,000	170,000	0
事業収益	29,678,000	31,385,000	△1,707,000
指定事業収益	20,358,000	21,517,000	△1,159,000
自主事業収益	8,175,000	8,723,000	△548,000
補助事業活動収益	1,145,000	1,145,000	0
受取補助金等	303,789,000	279,221,000	24,568,000
受取県補助金等	30,274,000	30,723,000	△449,000
受取市補助金等	18,300,000	18,300,000	0
受取その他補助金等	880,000	910,000	△30,000
県受託収益	248,033,000	228,638,000	19,395,000
市受託収益	150,000	350,000	△200,000
その他受託収益	6,152,000	300,000	5,852,000
受取寄附金	251,000	0	251,000
受取森づくり基金寄附金	251,000	0	251,000
雑収益	287,000	287,000	0
受取利息	1,000	1,000	0
雑収益	286,000	286,000	0
経常収益計	336,196,000	313,085,000	23,111,000
(2) 経常費用			
事業費	323,256,000	300,057,000	23,199,000
報酬	40,139,000	38,003,000	2,136,000
給料手当	73,652,000	81,119,000	△7,467,000
福利厚生費	27,896,000	27,840,000	56,000
賃金	14,843,000	7,383,000	7,460,000
諸謝金	6,302,000	5,499,000	803,000
旅費交通費	6,523,000	5,762,000	761,000
消耗品費	11,570,000	12,825,000	△1,255,000
燃料費	2,110,000	2,179,000	△69,000
会議費	173,000	191,000	△18,000
印刷製本費	3,178,000	3,016,000	162,000
光熱水費	16,127,000	16,614,000	△487,000

修繕費	26,334,000	10,219,000	16,115,000
消耗什器備品費	0	101,000	△101,000
商品仕入費	1,800,000	1,900,000	△100,000
通信運搬費	2,789,000	2,691,000	98,000
広告料	1,013,000	1,147,000	△134,000
手数料	2,524,000	2,151,000	373,000
保険料	1,911,000	1,990,000	△79,000
委託料	57,569,000	53,749,000	3,820,000
使用料及び賃借料	9,243,000	8,096,000	1,147,000
備品購入費	160,000	630,000	△470,000
負担・分担金及び補助金	3,716,000	4,065,000	△349,000
租税公課費	13,666,000	11,959,000	1,707,000
雑費	18,000	928,000	△910,000
管理費	12,690,000	13,028,000	△338,000
報酬	4,920,000	4,970,000	△50,000
給料手当	5,157,000	4,989,000	168,000
福利厚生費	1,605,000	1,660,000	△55,000
旅費交通費	62,000	72,000	△10,000
消耗品費	191,000	231,000	△40,000
会議費	5,000	5,000	0
通信運搬費	18,000	18,000	0
手数料	23,000	23,000	0
委託料	272,000	378,000	△106,000
使用料及び賃借料	213,000	323,000	△110,000
負担・分担金及び補助金	147,000	267,000	△120,000
租税公課費	52,000	52,000	0
支払利息	20,000	35,000	△15,000
雑費	5,000	5,000	0
経常費用計	335,946,000	313,085,000	22,861,000
当期経常増減額	250,000	0	250,000
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
当期一般正味財産増減額	250,000	0	250,000
一般正味財産期首残高	32,633,482	32,633,482	0
一般正味財産期末残高	32,883,482	32,633,482	250,000
II 指定正味財産増減の部			
一般正味財産への振替額	△250,000	0	△250,000
一般正味財産への振替額(受取寄附金)	△250,000	0	△250,000
当期指定正味財産増減額	△250,000	0	△250,000
指定正味財産期首残高	202,000,000	200,000,000	2,000,000
指定正味財産期末残高	201,750,000	200,000,000	1,750,000
III 正味財産期末残高	234,633,482	232,633,482	2,000,000

収支予算書内訳表

会計区分 全体

事業区分 平成31年04月01日 から 平成32年03月31日 まで

科 目	公益目的事業会計			収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合計
	森林文化（地域づくり）の創造	生活創造活動の支援	芸術文化の振興	（公益共通）	小計	収益事業			
I 一般正味財産増減の部									
1. 経常増減の部									
(1) 経常収益									
基本財産運用益	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	2,020,000
基本財産受取利息	2,020,000	0	0	0	2,020,000	0	0	0	2,020,000
特定資産運用益	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000
森づくり基金受取利息	1,000	0	0	0	1,000	0	0	0	1,000
受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	170,000
賛助会員受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	170,000
賛助会員受取会費	170,000	0	0	0	170,000	0	0	0	170,000
事業収益	9,656,000	13,783,000	741,000	200,000	24,380,000	5,098,000	200,000	5,298,000	29,678,000
指定事業収益	4,947,000	12,982,000	741,000	200,000	18,880,000	1,278,000	200,000	1,478,000	20,358,000
自主事業収益	4,242,000	113,000	0	0	4,355,000	3,820,000	0	3,820,000	8,175,000
補助事業活動収益	467,000	678,000	0	0	1,145,000	0	0	0	1,145,000
受取補助金等	190,406,000	68,131,000	30,508,000	1,600,000	290,645,000	334,000	0	334,000	303,789,000
受取県補助金等	24,657,000	3,148,000	2,037,000	402,000	30,244,000	0	0	0	30,274,000
受取市補助金等	5,276,000	0	250,000	275,000	5,801,000	0	0	0	5,801,000
受取その他補助金等	800,000	50,000	30,000	0	880,000	0	0	0	880,000
県受託収益	153,671,000	64,633,000	28,191,000	923,000	247,418,000	334,000	0	334,000	248,033,000
市受託収益	150,000	0	0	0	150,000	0	0	0	150,000
その他受託収益	5,852,000	300,000	0	0	6,152,000	0	0	0	6,152,000
受取寄附金	251,000	0	0	0	251,000	0	0	0	251,000
受取森づくり基金寄附金	251,000	0	0	0	251,000	0	0	0	251,000
雑収益	6,000	251,000	0	0	257,000	30,000	0	30,000	287,000
受取利息	0	1,000	0	0	1,000	0	0	0	1,000
雑収益	6,000	250,000	0	0	256,000	0	0	0	256,000
経常収益計	202,510,000	82,165,000	31,249,000	1,800,000	317,724,000	5,462,000	200,000	5,662,000	336,196,000
(2) 経常費用									
事業費	202,080,000	82,345,000	31,249,000	1,800,000	317,474,000	5,462,000	200,000	5,662,000	323,256,000
報酬	24,523,000	11,657,000	3,720,000	0	39,900,000	239,000	0	239,000	40,139,000
給料手当	51,331,000	5,952,000	16,206,000	0	73,489,000	163,000	0	163,000	73,652,000
福利厚生費	15,838,000	4,748,000	7,207,000	0	27,793,000	103,000	0	103,000	27,896,000
賃金	14,841,000	0	0	0	14,841,000	2,000	0	2,000	14,843,000
諸謝金	3,817,000	1,587,000	680,000	218,000	6,302,000	0	0	0	6,302,000
旅費交通費	4,929,000	1,055,000	334,000	112,000	6,430,000	13,000	80,000	93,000	6,523,000
消耗品費	8,402,000	2,057,000	73,000	60,000	10,592,000	928,000	50,000	978,000	11,570,000
燃料費	1,104,000	985,000	0	0	2,089,000	21,000	0	21,000	2,110,000
会議費	114,000	50,000	4,000	5,000	173,000	0	0	0	173,000
印刷製本費	2,243,000	617,000	67,000	250,000	3,177,000	1,000	0	1,000	3,178,000

	6,412,000	9,331,000	0	0	15,743,000	384,000	0	384,000	0	16,127,000
光熱水費	6,412,000	9,331,000	0	0	15,743,000	384,000	0	384,000	0	16,127,000
修繕費	18,164,000	7,263,000	0	0	25,427,000	907,000	0	907,000	0	26,334,000
商品仕入費	0	0	0	0	0	1,800,000	0	1,800,000	0	1,800,000
通信運搬費	1,577,000	1,112,000	44,000	8,000	2,741,000	28,000	20,000	48,000	0	2,789,000
広告料	743,000	100,000	69,000	0	912,000	101,000	0	101,000	0	1,013,000
手数料	2,287,000	152,000	36,000	1,000	2,476,000	48,000	0	48,000	0	2,524,000
保険料	1,078,000	822,000	0	0	1,900,000	11,000	0	11,000	0	1,911,000
委託料	32,840,000	23,271,000	0	993,000	57,104,000	465,000	0	465,000	0	57,569,000
使用料及び賃借料	4,157,000	4,616,000	209,000	117,000	9,099,000	94,000	50,000	144,000	0	9,243,000
備品購入費	110,000	49,000	0	0	159,000	1,000	0	1,000	0	160,000
負担・分担金及び補助金	900,000	60,000	-2,600,000	36,000	3,596,000	0	0	0	120,000	3,716,000
租税公課費	6,665,000	6,861,000	0	0	13,526,000	140,000	0	140,000	0	13,666,000
雑費	5,000	0	0	0	5,000	13,000	0	13,000	0	18,000
管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
報酬	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
委託料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
負担・分担金及び補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
租税公課費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
支払利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
經常費用計	202,080,000	82,345,000	31,249,000	1,800,000	317,474,000	5,462,000	200,000	5,662,000	12,810,000	335,946,000
当期經常増減額	430,000	△180,000	0	0	250,000	0	0	0	0	250,000
2. 經常外増減の部										
(1) 經常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
經常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 經常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
經常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期經常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期一般正味財産増減額	430,000	△180,000	0	0	250,000	0	0	0	0	250,000
一般正味財産期首残高	-	-	-	-	38,197,572	-	-	4,544,327	△10,108,417	32,633,482
一般正味財産期末残高	-	-	-	-	38,447,572	-	-	4,544,327	△10,108,417	32,883,482
II 指定正味財産増減の部										
一般正味財産への振替額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
一般正味財産への振替額(受取寄附金)	△250,000	0	0	0	△250,000	0	0	0	0	△250,000
当期指定正味財産増減額	△250,000	0	0	0	△250,000	0	0	0	0	△250,000
指定正味財産期首残高	-	-	-	-	△250,000	0	0	0	0	△250,000
指定正味財産期末残高	-	-	-	-	202,000,000	0	0	0	0	202,000,000
III 正味財産期末残高	-	-	-	-	240,197,572	-	-	4,544,327	△10,108,417	201,750,000
	-	-	-	-	234,633,482	-	-	234,633,482	-	234,633,482

公益財団法人民福財協会の業務報告書

収支予算書 (資金ベース)

会計区分 全体

事業名 全体

事業区分 -

平成31年04月01日 から 平成32年03月31日 まで

(単位:円)

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	備考
I 事業活動収支の部				
1 事業活動収入				
1 基本財産運用収入				
基本財産利息収入	2,020,000	2,020,000	0	
2 特定資産運用収入				
森づくり基金利息収入	1,000	1,000	0	
3 会費収入				
賛助会員会費収入	170,000	170,000	0	
4 事業収入				
指定事業収入	20,358,000	19,389,700	968,300	
自主事業収入	8,175,000	8,704,000	△529,000	
補助事業活動収入	1,145,000	1,445,000	△300,000	
5 補助金等収入				
県補助金等収入	30,274,000	30,723,000	△449,000	
市補助金等収入	18,300,000	18,300,000	0	
その他補助金等収入	880,000	1,265,000	△385,000	
県受託収入	248,033,000	321,997,000	△73,964,000	
市受託収入	150,000	150,000	0	
その他受託収入	6,152,000	4,300,000	1,852,000	
6 寄附金収入				
森づくり基金寄附金収入	1,000	2,027,000	△2,026,000	
7 雑収入				
利息収入	1,000	1,000	0	
雑収入	286,000	939,000	△653,000	
事業活動収入計	335,946,000	411,431,700	△75,485,700	
2 事業活動支出				
1 事業費支出				
報酬支出	40,139,000	37,057,000	3,082,000	
給料手当支出	73,652,000	73,749,000	△97,000	
福利厚生費支出	27,896,000	26,495,000	1,401,000	
賃金支出	14,843,000	13,797,000	1,046,000	
諸謝金支出	6,302,000	5,507,000	795,000	
旅費交通費支出	6,523,000	6,021,361	501,639	
消耗品費支出	11,570,000	13,967,588	△2,397,588	
燃料費支出	2,110,000	2,531,000	△421,000	
会議費支出	173,000	64,143	108,857	
印刷製本費支出	3,178,000	2,905,695	272,305	
光熱水費支出	16,127,000	16,528,000	△401,000	
修繕費支出	26,334,000	100,723,060	△74,389,060	
消耗什器備品費支出	0	1,000	△1,000	
商品仕入費支出	1,800,000	1,400,000	400,000	
通信運搬費支出	2,789,000	2,711,901	77,099	
広告料支出	1,013,000	1,340,920	△327,920	

手数料支出	2,524,000	2,619,868	△95,868
保険料支出	1,911,000	2,013,945	△102,945
委託料支出	57,569,000	65,566,960	△7,997,960
使用料及び賃借料支出	9,243,000	7,938,219	1,304,781
備品購入費支出	160,000	371,640	△211,640
負担・分担金及び補助金支出	3,716,000	4,311,000	△595,000
租税公課費支出	13,666,000	11,731,400	1,934,600
雑支出	18,000	21,000	△3,000
2 管理費支出			
報酬支出	4,920,000	5,120,000	△200,000
給料手当支出	5,157,000	5,079,000	78,000
福利厚生費支出	1,605,000	1,652,000	△47,000
旅費交通費支出	62,000	46,000	16,000
消耗品費支出	191,000	151,000	40,000
会議費支出	5,000	5,000	0
通信運搬費支出	18,000	18,000	0
手数料支出	23,000	133,000	△110,000
委託料支出	272,000	310,000	△38,000
使用料及び賃借料支出	213,000	80,000	133,000
負担・分担金及び補助金支出	147,000	272,000	△125,000
租税公課費支出	52,000	52,000	0
支払利息支出	20,000	15,000	5,000
雑支出	5,000	0	5,000
事業活動支出計	335,946,000	412,306,700	△76,360,700
事業活動収支差額	0	△875,000	875,000
II 投資活動収支の部			
1 投資活動収入			
1 基金取崩収入			
期間基金取崩収入	250,000	0	250,000
投資活動収入計	250,000	0	250,000
2 投資活動支出			
1 基金取得支出			
期間基金積立金支出	0	2,000,000	△2,000,000
一般募金積立金支出	2,000	27,000	△25,000
投資活動支出計	2,000	2,027,000	△2,025,000
投資活動収支差額	248,000	△2,027,000	2,275,000
III 財務活動収支の部			
1 財務活動収入			
財務活動収入計	0	0	0
2 財務活動支出			
財務活動支出計	0	0	0
財務活動収支差額	0	0	0
当期収支差額	248,000	△2,902,000	3,150,000
前期繰越収支差額	11,500,315	14,402,315	△2,902,000
次期繰越収支差額	11,748,315	11,500,315	248,000